

科目名	保育実習Ⅰ－１					単位	2.0
担当教員	平野 仁美・富山 幹子・水野 伸子						
授業形態	実技・実習	開講期間	集中	配当年次	3	授業番号	9107

●授業のテーマ

- ・子どもの最善の利益を追求するための保育士としての能力を培う

●到達目標

- ・保育所の生活に参加し、子ども理解や保育技術を学び保育士の役割を理解する。

●学習内容(授業概要)

保育実習Ⅰ－(1)〈保育士課程必修〉は保育所での12日間の実習である。本学で学んだことをふまえて、組織の一員として保育所にかかわる保育士等の仕事内容の理解、保育の方法や展開の仕方、子ども理解等の知識を習得することを目的とする。

具体的には、

- ①保育所の機能や役割について理解する。
- ②入所児の発達理解や環境による遊びを中心とした保育の方法を学ぶ。
- ③保育士の役割について理解し、保育観や子ども観を確立するための実践的な学びをすることを内容とする。

なお、本実習は、3年次前期に行われる。

●学習内容(授業計画)

指定された保育所において保育実習(12日間)を行う。

A. 学生は下記の事項について、実習先の指導者から指導を受けながら学習する。

- ア. 保育施設について理解する。
- イ. 保育所の一日の流れを理解し、参加する。
- ウ. 観察を通して、子どもと保護者の保育ニーズを理解する。
- エ. 実際の保育展開や保育方法に合わせた指導計画立案の仕方を理解する。
- オ. 子どもの生活や遊び等の保育の一部分や一日を担当し、保育方法
- カ. 保育所職員の仕事内容やそれぞれの役割分担を理解し、保育所の
- キ. 実習日誌や観察記録、個別記録、指導計画立案、保育環境の構成について指導をうける。
- ク. 子どもの最善の利益についての保育内容を学ぶ。
- ケ. 保育中の危機管理について指導を受ける。
- コ. 安全及び疾病防止への配慮について理解する。
- サ. 保育士としての倫理を理解する。

や保育技術を習得する。
組織について学ぶ。

B. 担当教員は、実習中に巡回指導を行い実習先の実習指導者との連携のもとに、実習生の指導を行う。

<実習スケジュール>

2年次：7月、オリエンテーション、実習先希望届提出、実習調整会を経て実習先の最終決定をする。

3年次：4月、事前指導、各種書類提出
6月、保育実習（12日間）
7月、事後学習（反省会）

●準備学習・事後学習の内容

準備学習として、実習中に使用する保育計画日案や部分案を立案し、保育展開に必要な教材準備等しておく。

事後学習として、自己課題をまとめ提出する。

●成績評価方法・基準

- ・実習についての保育所の評価（50%）
- ・実習日誌・実習のまとめからの評価（20%）
- ・2年次、3年次の実習授業での評価（30%）

以上を総合的に評価する。

●テキスト（必携）

- ・特に使用しない（必要に応じ参考資料プリント配布）
- ・ピアノ課題曲に対応した曲集購入

●参考文献／その他

- ・特になし

●履修上の注意

- ・必ず「保育実習Ⅰ－（1）A・B」と併せて履修すること。
- ・実習態度に著しい問題がある場合は、実習を中止することがあるので注意してください。